

東京都健康安全研究センターにおけるPCR検査*実施状況

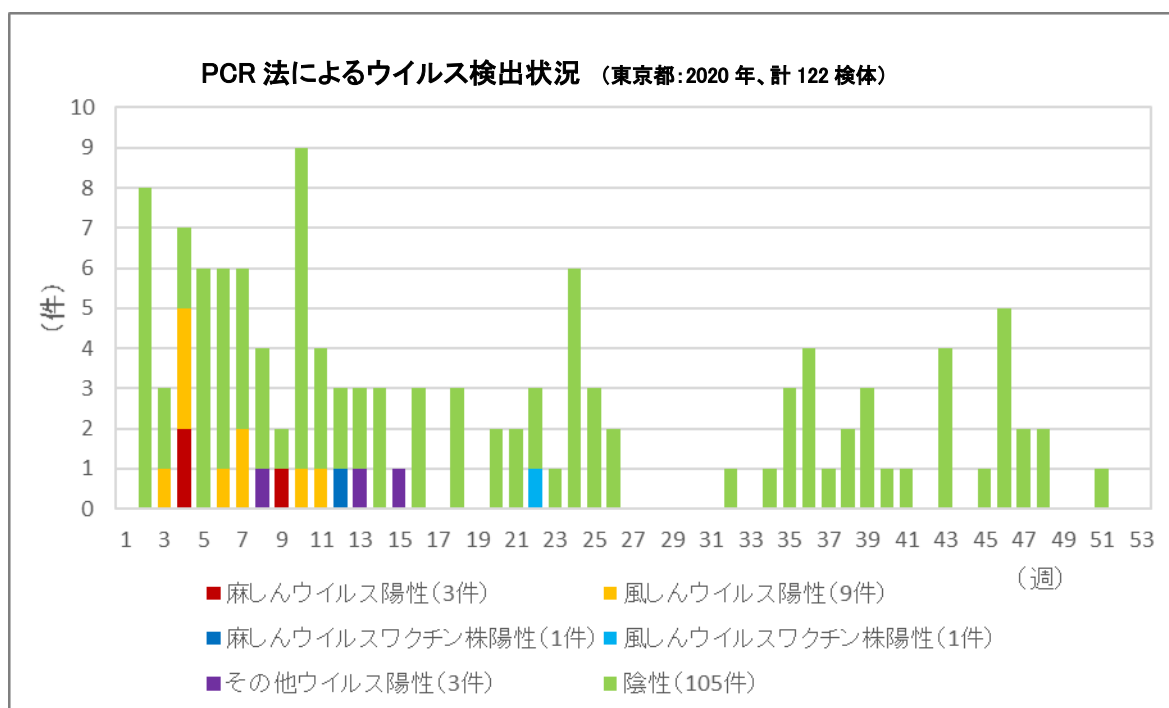
(2020年1週から53週)

東京都健康安全研究センター

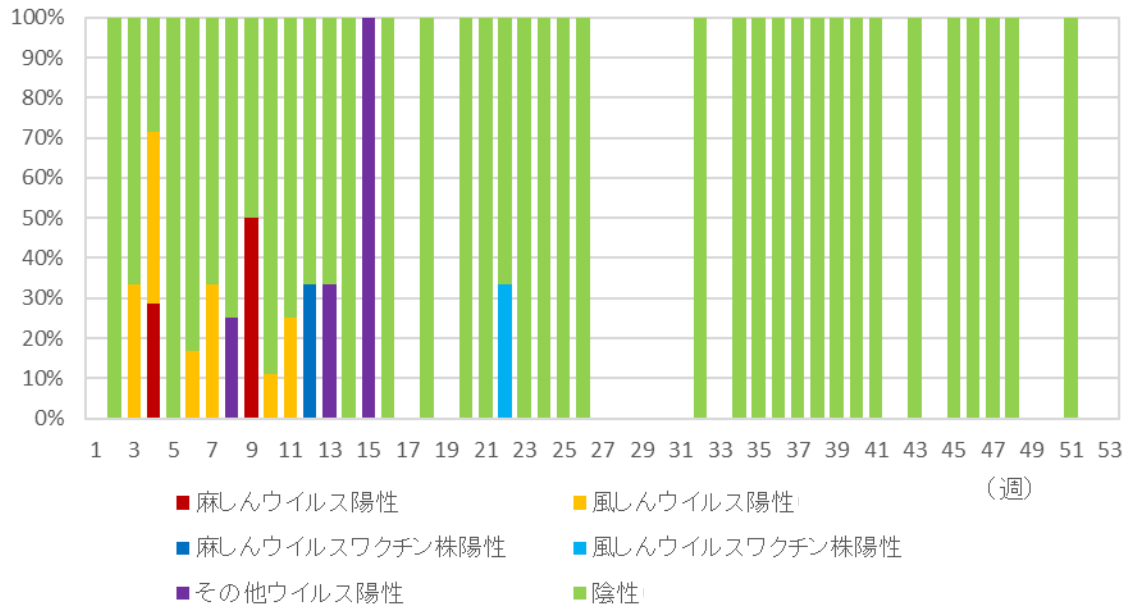
東京都では麻しんおよび風しんと診断された患者で協力が得られた場合、当センターに検体を搬入し、麻しんウイルスおよび風しんウイルスについてPCR検査を実施している。陰性だった場合は、パルボウイルスB19型のPCR検査を実施し、2歳以下では更にヒトヘルペスウイルスPCR検査も実施することとしている。

2020年1週から53週までで、麻しん・風しんと診断された患者100人122検体が当センターに搬入され、PCR検査が実施された。結果は、麻しんウイルス陽性が3検体、風しんウイルス陽性が9検体、麻しんおよび風しんウイルスのワクチン型が検出された検体がそれぞれ1検体、その他のウイルス陽性（パルボウイルスB19又はヒトヘルペスウイルス）が3検体、陰性が105検体だった。

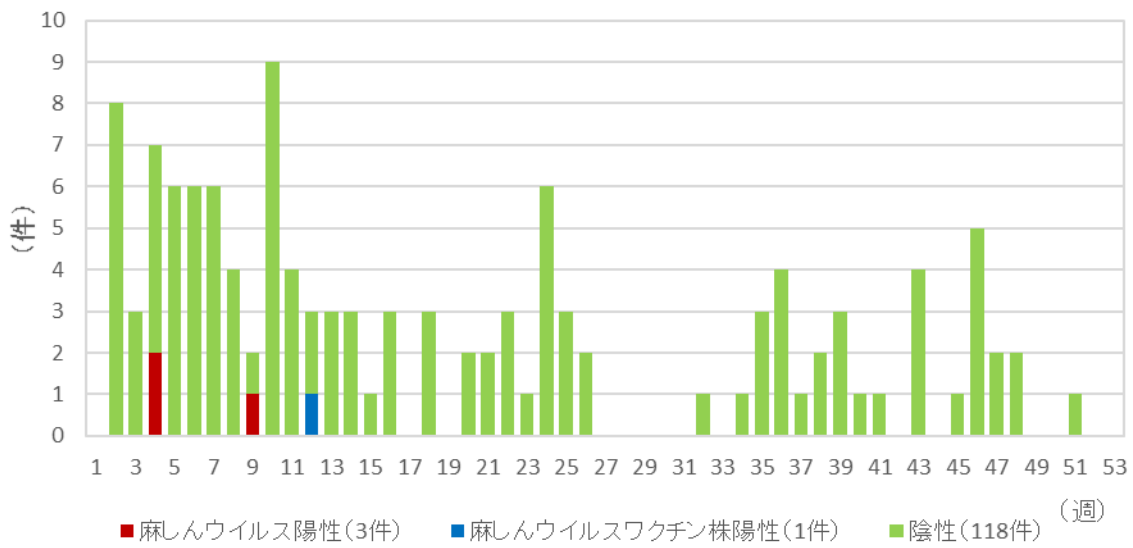
※PCR検査とは、特殊な酵素を用いて検査対象とするウイルス固有の遺伝子配列を増幅することにより標的となる病原体を検出する方法である。検出感度も高く、検出する対象の塩基配列を変える事により様々な検査に対応することが出来るため、現在では多くのウイルスの検査に応用されている。

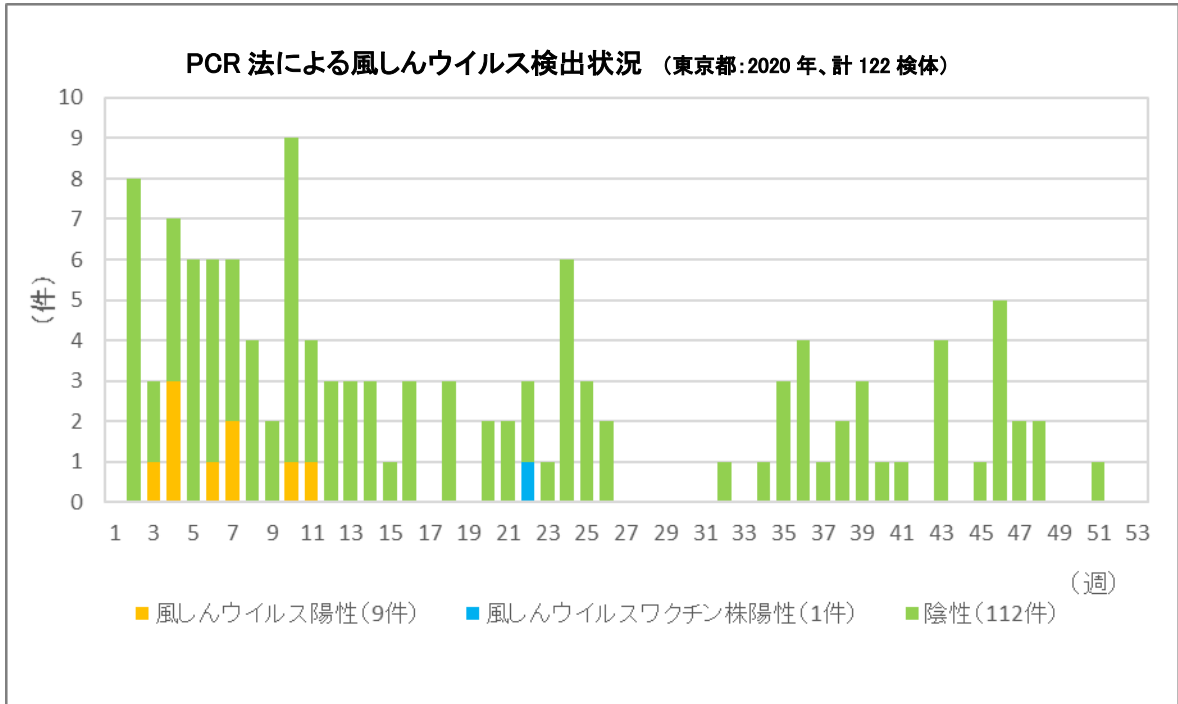


PCR 法によるウイルス検出状況の割合 (東京都:2020 年、計 122 検体)



PCR 法による麻しんウイルス検出状況 (東京都:2020 年、計 122 検体)





< 遺伝子型 >

麻疹ウイルス (3 検体中遺伝子型が判明した数)
 D8 型 : 3 検体
 その他ワクチン型 (A 型) : 1 検体

風しんウイルス (9 検体中遺伝子型が判明した数)
 1 E 型 : 5 検体 2 B 型 : 1 検体
 その他ワクチン (1a 型) : 1 検体

その他のウイルス (7 6 検体)
 ヒトヘルペスウイルス : 1 検体
 パルボウイルス B19 : 2 検体